

### 3 健康状態

#### (1) 疾病・異常等の状況

◇表7 主な疾病・異常等の被患率

(単位：%)

区分	裸未 眼 視 力 1 の 者	眼 の 疾 病 ・ 異 常	耳 疾 患	鼻 ・ 副 鼻 腔 疾 患	むし歯(う歯)			歯 列 ・ 咬 合	ア性 ト皮 皮膚  炎	心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	ぜ ん 息	
					計	処 完 了 置 者	未 の 処 あ 置 る 歯 者						
幼稚園	埼玉県 (前年度)	14.4 X	0.8 (0.1)	0.1 (0.0)	0.6 (1.2)	20.2 (20.4)	9.7 (8.0)	10.5 (12.3)	3.3 (2.5)	1.3 (1.1)	… …	0.5 (0.9)	0.2 (1.2)
	全 国	22.9	1.6	2.2	3.0	22.6	8.7	13.8	5.1	1.5	…	1.1	1.2
小学校	埼玉県 (前年度)	36.0 (35.5)	3.4 (4.0)	5.3 (6.2)	8.2 (7.4)	28.5 (30.9)	15.4 (18.2)	13.1 (12.8)	4.7 (2.5)	1.9 (2.4)	1.9 (2.0)	1.4 (1.7)	2.0 (2.6)
	全 国	37.8	5.3	6.3	12.4	34.8	17.5	17.3	5.1	3.3	2.4	0.8	2.9
中学校	埼玉県 (前年度)	X X	2.3 (3.1)	4.3 (4.8)	9.2 (7.2)	24.7 (21.4)	15.3 (13.3)	9.5 (8.0)	4.4 (3.0)	1.7 (2.5)	3.0 (2.5)	4.3 (3.4)	2.0 (2.0)
	全 国	60.9	5.1	4.9	10.5	28.0	16.9	11.1	5.2	3.0	3.2	2.8	2.0
高等学校	埼玉県 (前年度)	X (82.1)	3.0 (3.0)	4.1 (2.3)	6.5 (8.7)	30.5 (34.5)	17.9 (19.0)	12.6 (15.5)	3.7 (6.3)	1.4 (1.4)	2.3 (3.2)	2.0 (3.2)	1.1 (1.1)
	全 国	67.8	3.6	2.6	7.6	36.4	22.5	13.9	4.5	2.4	3.1	2.5	1.5

注) 1 全国の値については、小数点以下第二位を四捨五入している。以下の各表において同じ。

2 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ調査対象としている。

#### (2) 主な疾病・異常等の状況

##### ア 裸眼視力(表7・8・9、図7・8・9、統計表4・5・9)

・小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合は、過去最多となった。(36.0%)

・小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合について、直近5年間(令和1年～5年)とその前5年間(平成26年～30年)の平均値を比べると直近5年間の方が高くなっている。

・小学生の裸眼視力を年齢別に見ると、6歳(小学校1年生)で約4人に一人(25.5%)、11歳(小学校6年生)では半数近く(46.6%)が裸眼視力1.0未満になっている。

・小学生の裸眼視力0.3未満の者の割合は、学年が上がるとともに増加し、6歳(小学校1年生)の1.0%に比べ、11歳(小学校6年生)では19.2%と、18.2ポイント高くなっている。

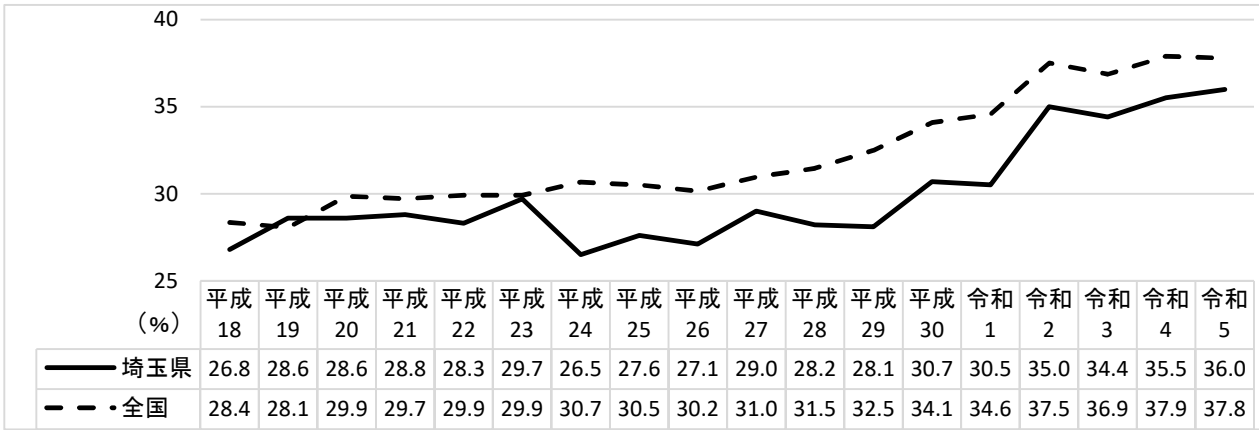
・男女間で比較すると、小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合は、6歳(小学校1年生)8歳(小学校3年生)9歳(小学校4年生)で女子が男子を上回っている。

・全国と比較すると、小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合は、男子は8歳(小学3年生)11歳(小学6年生)、女子は7歳(小学2年生)10歳(小学5年生)で下回っている。

◇表8 年齢別裸眼視力1.0未満の者の割合

区分	幼	小学校						中学校			高校		
	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
1.0未満 0.7以上	10.4	15.3	14.5	9.7	10.1	13.6	7.1	X	X	X	-	-	X
0.7未満 0.3以上	3.6	9.2	9.8	12.5	15.7	14.3	20.4	X	X	X	-	-	X
0.3未満	0.4	1.0	3.3	9.2	15.3	15.4	19.2	X	X	X	-	-	X

◆図7 小学生の裸眼視力1.0未満の者の割合の推移

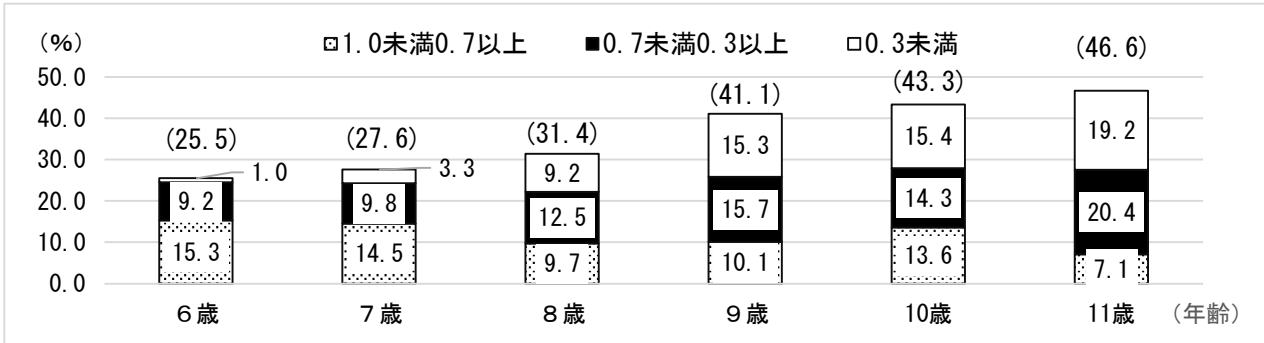


◇表9 小学生の裸眼視力1.0未満の者の推移（直近5年とその前5年の比較）（単位：％）

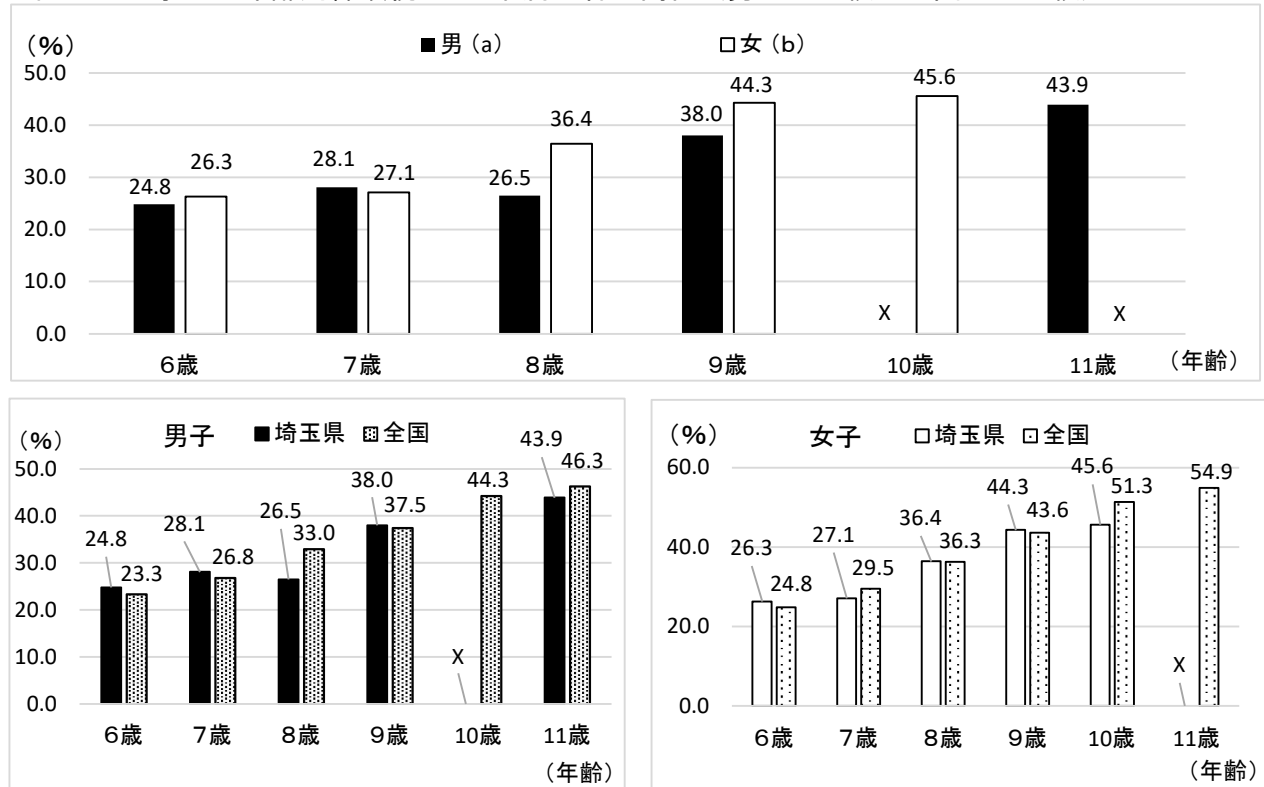
区分	平成26年～30年	令和1年～5年
疾病・異常被患率の平均値	28.6	34.3

注) 平均値は、5年間の疾病・異常被患率の平均値より算出している。（小数点以下第二位を四捨五入）

◆図8 小学生の年齢別 裸眼視力1.0未満の者の割合（埼玉県）



◆図9 小学生の年齢別裸眼視力1.0未満の者の割合（男女の比較・全国との比較）



注) 裸眼視力1.0未満の疾病・異常被患率は、埼玉県の男子10歳と女子11歳は、統計数値を公表しない。

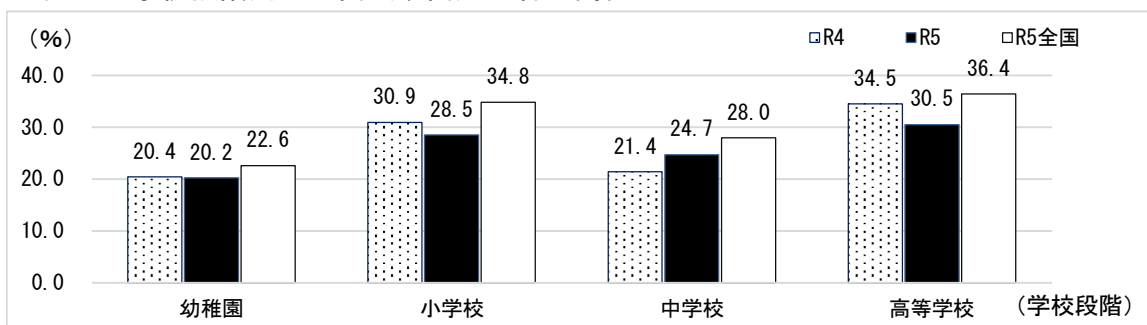
イ むし歯（う歯）（表10・11、図10・11、統計表4・5・9）

- ・被患率を年齢別で見ると、8歳（34.4%）が最も高くなっている。
- ・前年度と比較すると、半数以上の年齢で低下している。
- ・全国と比較すると、すべての年齢で下回っている。
- ・むし歯（処置完了者を含む）の者の割合を前年度と比べると中学校以外は低下しており、高等学校で4割以下、幼稚園・小学校・中学校では3割以下になっている。
- ・被患率について直近5年間（令和1年～5年）とその前5年間（平成26年～30年）の平均値を比べると直近5年間の方が低くなっている。

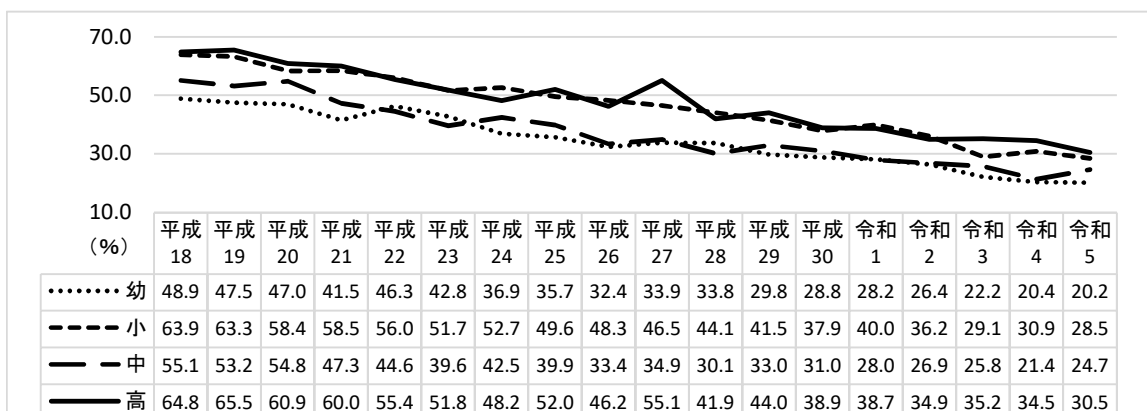
◇表10 年齢別むし歯（う歯）の者の割合（単位：%）

区分	埼玉県 (A)	処置完了者		前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)	
		処置完了者	未処置歯のある者					
幼稚園	5歳	20.2	9.7	10.5	20.4	▲ 0.2	22.6	▲ 2.4
	6歳	23.2	10.2	13.0	23.4	▲ 0.2	28.6	▲ 5.4
小学校	7歳	28.2	14.3	13.9	31.8	▲ 3.6	34.6	▲ 6.4
	8歳	34.4	18.4	16.0	35.9	▲ 1.5	40.0	▲ 5.6
	9歳	33.5	19.3	14.2	37.7	▲ 4.2	40.8	▲ 7.3
	10歳	28.9	15.7	13.3	32.0	▲ 3.1	36.2	▲ 7.3
	11歳	22.8	14.3	8.5	25.0	▲ 2.2	28.7	▲ 5.9
中学校	12歳	25.1	16.0	9.1	20.9	4.2	26.6	▲ 1.5
	13歳	23.6	14.6	9.1	21.9	1.7	26.5	▲ 2.9
	14歳	25.4	15.2	10.2	21.2	4.2	30.7	▲ 5.3
高等学校	15歳	26.5	15.2	11.3	31.4	▲ 4.9	32.4	▲ 5.9
	16歳	31.8	18.5	13.3	34.4	▲ 2.6	36.7	▲ 4.9
	17歳	33.5	20.3	13.2	37.8	▲ 4.3	40.4	▲ 6.9

◆図10 学校段階別むし歯（う歯）の者の割合



◆図11 むし歯（う歯）の者の割合の推移（埼玉県）



◇表11 むし歯（う歯）の者の推移（直近5年間とその前5年間の比較）（単位：%）

区分	平成26年～30年	令和1年～5年	
疾病・異常被患率の 平均値	幼稚園	31.7	23.5
	小学校	43.7	32.9
	中学校	32.5	25.4
	高等学校	45.2	34.8

注）平均値は、5年間の疾病・異常被患率の平均値より算出している。（小数点以下第二位を四捨五入）

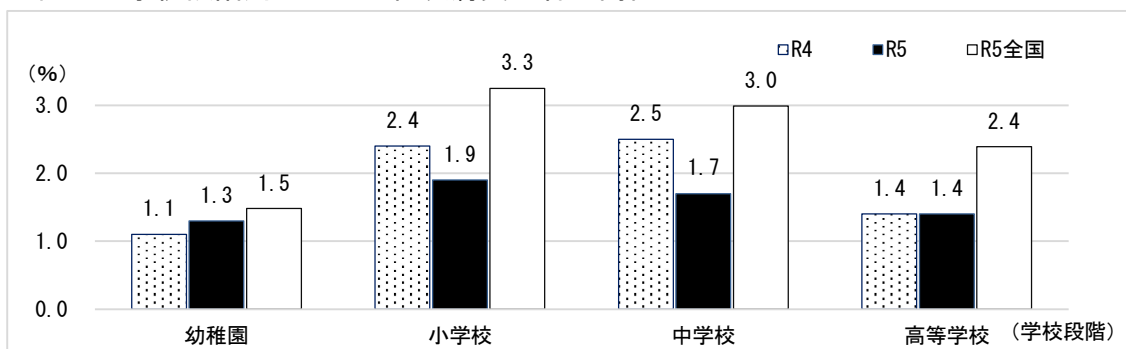
ウ アトピー性皮膚炎（表12、図12・13、統計表4・5・9）

- ・被患率を年齢別にみると、7歳（2.4%）が最も高くなっている。
- ・前年度と比較すると、半数以上の年齢で低下している。
- ・全国と比較すると、すべての年齢で下回っている。
- ・被患率を学校段階別で見ると、小学校が最も高くなっている。

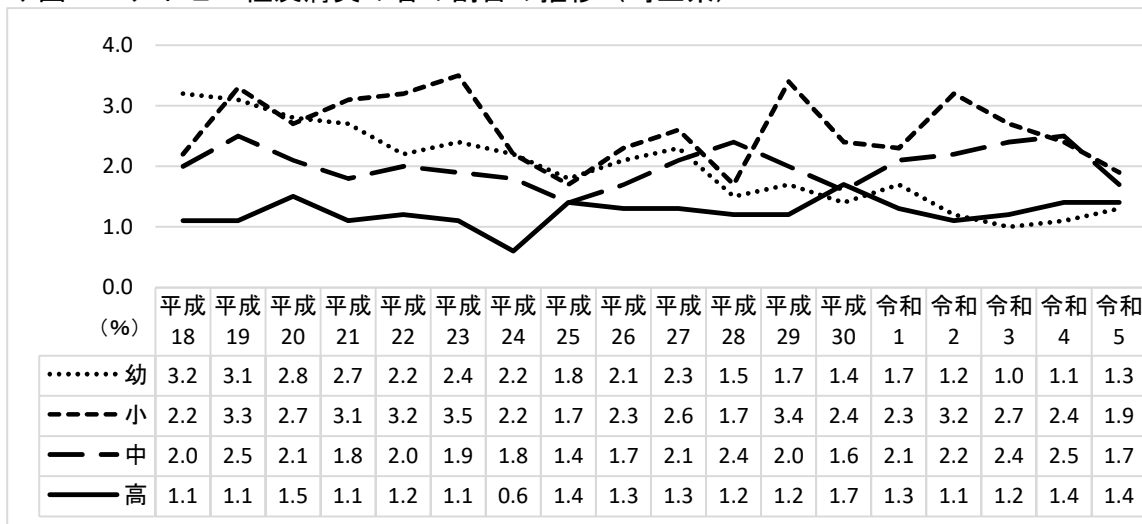
◇表12 年齢別アトピー性皮膚炎の者の割合（単位：%）

区 分		埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
幼稚園	5歳	1.3	1.1	0.2	1.5	▲ 0.2
	6歳	1.9	2.0	▲ 0.1	3.3	▲ 1.4
小学校	7歳	2.4	2.5	▲ 0.1	3.2	▲ 0.8
	8歳	2.0	3.3	▲ 1.3	3.2	▲ 1.2
	9歳	1.9	2.1	▲ 0.2	3.4	▲ 1.5
	10歳	1.8	2.4	▲ 0.6	3.3	▲ 1.5
	11歳	1.6	2.0	▲ 0.4	3.2	▲ 1.6
中学校	12歳	1.8	2.7	▲ 0.9	3.0	▲ 1.2
	13歳	1.6	2.4	▲ 0.8	3.1	▲ 1.5
	14歳	1.7	2.5	▲ 0.8	2.9	▲ 1.2
高等学校	15歳	1.3	1.5	▲ 0.2	2.5	▲ 1.2
	16歳	1.5	1.4	0.1	2.3	▲ 0.8
	17歳	1.4	1.3	0.1	2.4	▲ 1.0

◆図12 学校段階別アトピー性皮膚炎の者の割合



◆図13 アトピー性皮膚炎の者の割合の推移（埼玉県）



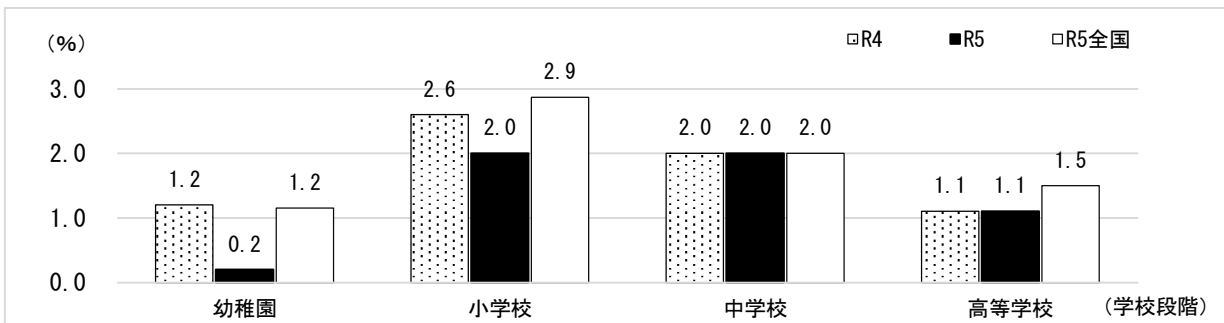
エ ぜん息（表13、図14・15、統計表4・5・9）

- ・被患率を年齢別にみると、8歳と12歳（2.2%）が最も高くなっている。
- ・前年度と比較すると、半数以上の年齢で低下している。
- ・全国と比較すると、12歳を除くすべての年齢で下回っている。
- ・被患率を学校段階別に見ると、小学校と中学校が高くなっている。

◇表13 年齢別ぜん息の者の割合（単位：％）

区分		埼玉県 (A)	前年度 (B)	前年差 (A-B)	全国 (C)	全国差 (A-C)
幼稚園	5歳	0.2	1.2	▲ 1.0	1.2	▲ 1.0
	6歳	2.1	2.3	▲ 0.2	3.1	▲ 1.0
小学校	7歳	1.6	2.9	▲ 1.3	2.9	▲ 1.3
	8歳	2.2	2.8	▲ 0.6	2.9	▲ 0.7
	9歳	2.1	2.5	▲ 0.4	2.9	▲ 0.8
	10歳	2.2	2.8	▲ 0.6	2.8	▲ 0.6
	11歳	1.8	2.4	▲ 0.6	2.6	▲ 0.8
中学校	12歳	2.2	1.7	0.5	2.0	0.2
	13歳	1.9	2.0	▲ 0.1	2.0	▲ 0.1
	14歳	1.8	2.2	▲ 0.4	2.0	▲ 0.2
高等学校	15歳	1.2	1.0	0.2	1.5	▲ 0.3
	16歳	1.1	1.2	▲ 0.1	1.4	▲ 0.3
	17歳	1.1	1.1	0.0	1.6	▲ 0.5

◆図14 学校段階別ぜん息の者の割合



◆図15 ぜん息の者の割合の推移（埼玉県）

